

「駅業務委託のさらなる推進について」

申13号 説明申し入れ 確認事項 ②

【第7項 「NF2008」以降の業務委託駅に従事するフロパー社員数について】

- 2011年4月に千葉鉄道サービスに若干名入社している。
- 基本的にはシニア雇用の確保の場となるが、ミスマッチはフロパーが埋めていく。

【第8項 フロパー社員を新たに配置する場合のフロパー社員像、配置基準について】

- 委託会社の判断になるが、現在求人情報メールを登録している技術のあるグリーンスタッフに対してのみ配信している。(3社：東日本環境アクセス、千葉鉄道サービス、ジェイアル新潟ビジネス)
- 5支社は経験を積んだグリーンスタッフが駅業務委託会社に採用されるという相関関係になる。

【第10項 実施期日以降の駅業務委託はフロパー社員が担うのか】

- 東日本環境アクセス、千葉鉄道サービス、ジェイアル新潟ビジネスの入社が4月1日だが、業務に従事する日は会社によって異なる。
- 業務委託できる条件が整ってからの委託として計画的にやっていく。

【第9項 実施期日以降に委託する駅、コーナー及び委託枠数について】

- 具体的には地方での議論となるが、一定の規模はあると考えている。
- 地区駅などの大きな駅のコーナーの出改札などは委託ができる。グリーンスタッフは女性も多く採用されていることを踏まえれば、女性の設備があるところになる。判断は支社になる。
- グリーンスタッフの契約が満了になる人のために今回委託を拡大するものではない。結果としてグリーンスタッフの方が受託会社に採用される出来上がりになると考えている。

【第11項 グリーンスタッフを対象とした求人情報メールについて】

- 今回は、2月中旬頃におこなう更新の手続きの時期に、再度登録したいグリーンスタッフがいれば案内をする。
- 3月末で契約満了のグリーンスタッフに対しても案内をおこなう。

【第12項 営業職場の将来展望について】

- 主幹部の営業としては、将来を考えた人員にするが、効率化も必要になる。社員の力が活かせる場としていきたい。駅は会社のイメージが大きいと考える。
- 駅の将来像については、今後議論していきたい。

安全・技術継承、雇用問題、そして営業職場の未来に向けて全組合員でたたかおう！